

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2014年 6月 26日

兵庫県知事 殿

提出者

住 所 兵庫県加西市網引町字丸山地内  
2001-8

氏 名 株式会社G F F 関西工場  
工場長 今野 均

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号0790-49-9651

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	(株) G F F 関西工場
事業場の所在地	兵庫県加西市網引町字丸山地内2001-8
計画期間	平成26年4月1日から平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	0912 肉加工品製造業
② 事業の規模	5,219,001千円
③ 従業員数	207名 (平成26年5月31日現在)

④産業廃棄物の一連の処理の工程	製造プロセス	
	① 原料処理 ② 加工処理 ③ 充填処理 ④ 箱詰処理	動植物性残渣⇒飼料化 廃プラスチック⇒固形燃料化 廃油⇒有価売却 ガンボール⇒有価売却 金属くず⇒有価売却
	↓	
	【工場排水】	
	排水処理⇒パッキム引抜汚泥⇒焼却	

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

役割

- ・ 総括責任者廃棄物担当： 関西工場 工場長
- ・ 廃棄物担当： 他2名

業務内容

- ・ 統括責任者： 廃棄物発生量に関する管理  
： 廃棄物削減に関する検討
- ・ 廃棄物担当： 廃棄物数量管理

組織図

```

    graph TD
      A[工場長 (廃棄物処理統括責任者)] --- B[廃棄物担当]
      A --- C[関連会社]
  
```

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 状	【前年度 (平成25年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり		
② 計画	【目標】 前年比生産重量当り2%削減		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・動物性残渣・木くず、廃プラスチック類、汚泥、金属くず、ガラス、陶磁器くず それぞれ分別して保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状維持

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(平成 年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組) 1. 規格外品の製品化	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(平成 年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	

	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	別紙のとおり	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	別紙のとおり	0 t
	(今後実施する予定の取組) なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量		0 t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		0 t
	(今後実施する予定の取組) なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	別紙のとおり	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙のとおり	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙のとおり	t

	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙のとおり	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	別紙のとおり	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙のとおり	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項(別紙)

別紙-①

【(前年平成25年度)実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	動植物性残渣	金属屑
排出量	44.8t	18t	1625.7t	339t

これまでに実施した取り組み

- 1、汚泥⇒焼却
- 2、廃プラスチック⇒固形燃料化
- 3、動植物性残渣⇒飼料化
- 4、金属屑⇒再資源化

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	動植物性残渣	金属屑
排出量	43.9t	17.6t	1593.2t	332.2t

今後実施する予定の取り組み

- 1、製造量に合わせて製造ラインの効率的な運用を図り、廃棄物の2%排出抑制を行なう

産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
【前年度(平成25年度)実績】						
産業廃棄物の種類	汚泥	廃食用油	廃プラスチック類	動植物性残渣	金属屑	
①現状	全処理委託量	44.8t	0	18t	1625.7t	339t
	優良認定処理業者への処理委託量	/	/	/	/	/
	再生利用業者への処理委託量	44.8t	0	18t	1625.7t	339t
	認定熱回収業者への処理委託量	/	/	/	/	/
	認定熱回収業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量	/	/	/	/	/
(これまでに実施した取り組み)						
・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図る。						
【目標】						
産業廃棄物の種類	汚泥	廃食用油	廃プラスチック類	動植物性残渣	金属屑	
②計画	全処理委託量	43.9t	0	17.6t	1593.2t	332.2t
	優良認定処理業者への処理委託量	/	/	/	/	/
	再生利用業者への処理委託量	43.9t	0	17.6t	1593.2t	332.2t
	認定熱回収業者への処理委託量	/	/	/	/	/
	認定熱回収業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量	/	/	/	/	/
(今後実施する予定の取り組み)						
・規格外品の製品化						
・包装不良の低減を図る						